まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索 オイスカ西日本

第 689 号
令和 3 年 6 月号付録

←Facebook に日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

令和 3 年度　西日本支部運営委員会開催

5 月 27 日、オンラインでの運営委員会を開催しました。令和 2 年度の事業報告・収支報告及び、令和 3 年度事業予定・収支予定を審議頂きました。運営委員会委員の皆様（九電工、JR 九州、福岡銀行、西日本鉄道、ふくや、西部ガス、西日本シティ銀行、石村萬盛堂）もオンラインで参加頂き、田中委員長（九州電力総務部長）の議長進行により実施頂きました。特に今年度の研修生が来日できない中、多くの事業に支障が出ないか？とご心配頂きました。コロナ禍ではありますが、西日本研修センター及び支部の活動がより一層充実するようご指導いただきましたので、これからも頑張ってまいります。次回の会合は是非とも対面で出来ることを願っております。皆様のご参加、ありがとうございました。（廣瀬）

クラウドファンディング開始

九州経済連合会主催のクラウドファンディングにチャレンジしました。3 月に公募をはじめて、29 組の応募があり、5 月に第 1 回目のオイスカ農産物返礼品を発送しました。この取り組みは、九州の第一次産業を応援するプロジェクトで、オイスカとしては、オイスカの有機・無農薬の農産物を多くの方に味わってもらい、また、活動報告も行いながら、広報にも役立てようと参加しました。年間通して 5 回の農産物発送で 3 万円の寄付を頂いております。今後は、金額、内容等を検討し、より多くの方が気軽に参加できるような内容を検討していきます。今回は、鹿児島から関東にいたる多くの方に味わっていただきます。第二弾の募集要項が決まりましたらお知らせ致しますので、ご期待くださいませ。オイスカの農産物、美味しいですよぉ～！！（廣瀬）

農業ボランティアありがとうございます！！

本来であれば、今年の 2 月より 6 ヶ国 1 地域より 8 名の新海外研修生が入国し、オイスカでの研修を行う予定でしたが、コロナの影響でまだ一人も入国出来ていません。そんな中でもオイスカの農場は活動しています。水田 11 ヘクタール、畑 2 ヘクタール、果樹園 1.5 ヘクタールと養鶏、エミュー、それと中庭のうさぎちゃん達。

センターを多くの方よりご心配頂き、4 月は毎週土曜日、西日本支部運営委員会企業の皆様がボランティアでお手伝い頂きました。（九州電力、九電工、JR 九州、福岡銀行、西日本鉄道、ふくや、西部ガス、西日本シティ銀行）皆様ありがとうございました。

また、近隣の県立早良高校でもご心配頂き、校長先生の声掛けで生徒 120 名程が名乗りを上げて頂き、20 名程度のチームに分けて、農業のお手伝いを頂きました。企業の皆さん、高校生の皆さん、慣れない農業ですが、皆さん楽しんで頂けたと思います。これから夏に向けて、農場は大変な時期になります。もしご参加頂ける方があれば、是非ともご協力頂ければ幸いです。ご連絡お待ちしております。（廣瀬）

ご協力ありがとうございます！

【5 月の新入会】(敬称略)
・株式会社 CRECER（センター）
・金子　展之　　（センター）
・髙田　洋一　　（センター）
・新村　　優　　（センター）

【5 月の寄付金】（敬称略）
松原勉

【5 月の寄付品】(敬称略)
ひよどり精肉店、高木　由加里、ハートフィールドさかもと㈱ゼンリン、伊藤　正

鬼木大明神　今月の一句

「私(自分)なんて…ダメ」と思うな！自分を下げる言葉を言うな！自分の良いところを見つけまず自分でほめて伸ばし育てろ！どんな欠点でも見方を変えれば長所になるのだ！そして機嫌よく生きろ！挨拶をしろ！相手の名前を呼べ！周りへの何よりの贈り物だ！！また誰かの役に立てれば自分に力が湧く。人に親切にすれば自分に歓びが湧く。小さな歓びを見つけていい感情をもてる自分になろう。他人の為に生きる自分になれば最高じゃないか！！

西日本研修センターWeb 報告会開催

コロナ禍が落ち着かず、センターとしても色んな交流が滞っています。そんな中、オイスカ全体で、活動を多くの方に報告する機会を設けています。今回は、西日本研修センターをオンラインで報告しました。5 月 19 日、事前準備を行った映像も含め、オイスカ活動、研修の位置付け等を約 1 時間放映しました。残念ながらご覧になれなかった方は、Youtube にてご覧いただけます。早くコロナが落ち着いて、研修生と皆さんが交流できる日が来ることを願っております。Youtube は次のアドレスでご覧いただけます。楽しいですよぉ～！！

https://youtu.be/CAYG4ERU2eI

～次回の WEB 報告会のお知らせ～

第 6 回　日　時：6 月 24 日（木）12:00～13：00
テーマ：「インドネシアにおけるパンデミック下のオイスカ活動（仮）」
報告者：インドネシア駐在代表　中垣豊　ほか

6 月の予定

5 日　体験農園田植え大会
10 日　オイスカ福岡県会議員連盟総会

体験農園だより

今年は例年よりもだいぶ早く梅雨入りしました。センター周辺でも雨の日が多く、作業が滞らないか心配です。しかし体験農園の作業日には快晴！天気の良い日の畑作業は晴れ晴れとした気分になります。

また福岡も緊急事態宣言が発令され、他の施設には行けないからか、作業日には 20 組前後の参加者が畑にいらっしゃいます。野菜がうまく育っているところと、そうでないところとまばらではありますが、すくすくと育つ姿に参加者の皆様も嬉しそうにしています。夏の収穫がとても楽しみです！

また作業の他にも茶摘みと梅酵素づくりを行いました。それぞれ 10 組ほどが参加されました。脇山は日本で最も古いお茶の生産地とされています。歴史あるお茶の味を楽しんでいただきました。梅酵素づくりでは、子どもたちが率先して梅を潰して楽しんでいました。酵素づくりはその後の手入れも大事なので、一緒にやってくれていたらなぁと思います。

来月には田植大会が控えています。子どもたちにとっては貴重な機会だと思うので、当日、晴れることを切に願っています！（飯川）

里親募集中

センターで生まれた子猫があと2匹います。まだまだ里親募集中です！気になる方はセンターまでご連絡下さい！！

佐賀ひなた園梅ちぎり体験に参加

5 月 26 日（水）、佐賀市内にあるひなた村自然塾（保育園）の梅畑で、保育園児と一緒に梅の収穫作業を体験しました。研修生は子どもが大好きなので、例年ですと子どもたちにおんぶやだっこをしてあげて梅の収穫をしてもらっているのですが、今回は三密の回避ということで、用意した脚立に子どもが上って梅を収穫する作業を、下で子どもが脚立から落ちないようにサポートする役割を担いました。研修生は、梅がたくさんなっている場所を選んでそこに脚立を移動し、子どもに「はい気を付けて上がってください」と優しく声をかけます。子どもたちは喜んで脚立に上がり、手を一生懸命伸ばして梅を収穫するのです。30分ほどの梅ちぎり作業でしたが、とても微笑ましい時間を子どもたちと一緒に共有することができました。梅ちぎりの後は、パプアニューギニアのバンブーバンドで歌を2曲披露して子どもたちとお別れしました。（豊田）

オイスカ農場の研修風景

現在、センターには OB 研修生含めて4名の研修生が在籍しています。コロナの影響で帰国が出来ずにいた中で、本人からの要望もあって研修を来年1月まで延長をしています。もちろん今年度の研修生は入国の予定がいまだに立っておらず、この 4 人の研修生とスタッフで農場を運営しています。今期の春夏の作付けでは、2 名の先輩研修生（フィジー：パウ、パプアニューギニア：マックス）に約 30 アールの畑を担当してもらい、その中でナス、キュウリ、オクラなどを主に栽培してもらっています。

昨年の秋冬の作付けでは、1 アールの面積を個人畑として管理してもらいましたが、今回は更に大きな面積を担当するということで、本人たちもかなりやる気をもって栽培管理にあたってくれています。昨年までは、この作業をしてくださいと指示を出したら、その作業のみを行っていたのですが、責任をもっていろいろな事をまかせると、自分で考えて率先して作業に取り組む姿勢が見られ、今では一つの作業を指示すれば、それが倍以上の成果となって答えが返ってきます。

本人たちも「自分が担当している畑での作業はぜんぜん疲れません、楽しいです」と明るく話してくれます。

研修生が少ない中で、センターのために少しでも貢献したいという気持ちを持って日々の作業に取り組む彼らの姿勢は、更なる成長につながっているように思えます。（豊田）

令和3年度前期国際協力ボランティア

みなさん、はじめまして。国際協力ボランティアの山崎です。自己紹介をして欲しいということで、かる～くご紹介させていただきます！私は、千葉工業大学を卒業後、音声認識のエンジンとアプリケーションを作る会社で約 2 年間、エンジニアとして働いていました。難しそうと思われるかもしれないですが、そんなに難しい分野ではないですよ！その後、東京農業大学に編入学して 2 年間、国際協力について学びます。そして今、オイスカの国ボラとして活動させていただいております。IT の分野から畑違いの農業の分野に飛び込んだのにはいろいろな理由がありますが…ここでは割愛。

私は農業に関してはまだまだ未熟者。全然、経験が足りません。私の強みである IT の知識と今から学ぶ農業を上手く繋げ合わせて、より良い国際協力を目指していきたいと思っています。これからも、よろしくお願いいたします（山崎）

こんにちは。国際協力ボランティアの岡田香織です。今年の 4 月から 9 月まで、色々な部署を回ってオイスカの活動について学んでいます。西日本研修センターには、5 月の約 1 ヶ月間、お世話になっています。センターではスタッフ・研修生の皆さんに暖かく迎え入れていただき、疲れるけれども充実した毎日を楽しんでいます。新型コロナで多くのイベントが中止となってしまい、多くの皆さんとお会いできないのが残念です。また収穫祭などに顔を出したいと思っておりますので、その際にお会いできるのを楽しみにしております。（岡田）

会員さま紹介　株式会社コイシ(オイスカ大分県推進協議会)

＜オイスカへの入会のきっかけ＞弊社代表が地元新聞でオイスカ様を知ったのが平成 3 年。平成 6 年、博多にて、フィリピン・ミンダナオ島で従事しておられた池田廣志様の講演をたまたまお聴きし、質疑応答で熱い意見を交わしました。その 1 ケ月後、フィリピンの池田様からお電話をいただき、ミンダナオ島のディポログに行ったのが入会のきっかけです。

＜オイスカへのメッセージ＞ミンダナオ島訪問がきっかけで、弊社新入社員には、ディポログで日本の贅沢を感じてもらうことにしました。またフィリピンには 2 年で成長し、かつ、軽い木「ファルカータ」があることを知り、現場で使用する杭にしたいと奔走。日本への輸入を許される唯一の企業となりましたが、資金がなく断念したこともありました。植林・森林整備に関わっておられるオイスカ様を引き続き応援しております。

＜会社案内＞

昭和 62 年に小原文男が大分にて小原測量を創業し、土木現場に関わってきました。平成 6 年には土木技術者勉強会を開催。現場を助ける商品開発や、新しい技術にも積極的にチャレンジをしています。本年 5 月 8 日には、北九州芸術劇場にて第 3 回九州未来土木 in 北九州を WEB 配信にて開催。約 180 名の方にご視聴いただきました。これからも未来の土木を考えていきます。

2021 年 5 月 8 日開催　第 3 回　九州未来土木 in 北九州

最後は社長、全社員が登壇

所在地：大分市大字横尾 3617 番 2	創業：昭和 62 年 8 月
電話：097-506-0400	従業員数：60 名
代表取締役　小原文男	業務内容：土木工事測量（着工前・丁張掛け出来形管理）

OB 研修生紹介

今回は、平成 26 年から 27 年にかけて 15 カ月間 OB 指導者育成コースで 2 回目の訪日研修をしたインドネシアのティオさんを紹介します。ティオさんは OB 研修生の時には非常に頼れる存在で、農業技術はもちろん、他の研修生の模範となるリーダー的な存在でした。帰国してからもう 6 年が経ちますが、テオさんは今何をしているのでしょうか。

みなさんこんにちは。私はインドネシアのテオです。私は、日本から帰ってからも農業をしています。スイカ、ニガウリ、ブドウなどを栽培しています。家族はみんな元気で、子どもが二人いますよ。（男の子 8 さい、女の子 1 さい）今はスイカを作って自分で販売しています。

日本での思い出は、日本はきれいな国でゴミがなくて、日本人はみんな頑張っています。そして優しいです。オイスカメンバーのみなさんには、日本にいるとき本当にお世話になりました。

私も自分で農業をがんばりますので、これからも応援宜しくお願いします。みなさん一緒にがんばりましょう。

以上、インドネシアのティオさんの紹介でした。

ティオさんの家族

ティオさん(左)

スイカの収穫(手前)

ティオさん(中央)